

(中学校 実践事例) 第1学年 美術科

佐賀県人権・同和教育研究協議会 人間関係づくり研究委員会  
『子どもと子どもをつなぐ～学校生活をより楽しくするために～』(2014年度)に掲載されています。

1. 題材 色の学習をしよう。

2. 本時の目標

- ・色の三原色を使って、様々な色相を作り出すことができることを理解する。【関心・意欲・態度】
- ・絵の具の使い方や、色の塗り方に注意して12色相環の着彩をする。【表現・技能】

3. 人権が尊重される授業づくりの視点

- ①グループにおける活動を通して、自己表現力を高めたりコミュニケーション力を育てる。【自己存在感】
- ②友達の作品の良い所や工夫した所を、一つ以上見つけさせることにより、互いを認め尊重し合う気持ちを育てる。【共感的人間関係】

4. 展開

	学習活動内容	指導上の留意点・評価のポイント (★)	視点の具体的方策
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の学習内容を振り返り、本時の学習内容を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前回の学習を確認し、本時の学習内容として、なぜ12色相環を3色だけを使って着彩するのか、その目的が、基本的な色作りであることを理解できるよう助言する。</li> <li>★復習を通して、本時で取り組む内容が理解できたか。(ワークシート)</li> </ul>	
展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12色相環の色の作り方について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3色の色を使って制作するため、必要な色を作るには、混ぜる絵の具の分量が大切であることを助言する。</li> <li>★まず、自分で色を作ってみるという意欲的な活動ができたか。(観察、ワークシート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①グループ内で、考えを出しやすい雰囲気を大事にする。 *グループ発表</li> </ul>
開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクリルガッシュの特徴と用具の使い方を知る。</li> <li>・制作に取りかかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の使う用具について、その特徴や使い方を知り、正しい使い方を使う大切さを助言する。</li> <li>★用具の正しい使い方をしているか。(観察、ワークシート)</li> <li>○絵の具と水の分量を考えながら、ベタ塗りを意識させ、丁寧に塗ることの大切さを助言する。</li> <li>★自分の作りたい色を作ることができたか。又、ベタ塗りを意識して、丁寧に制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①絵の具の特徴を踏まえ正しい使い方ができるよう、互いに確認させるようにする。 *教え合い</li> <li>①絵の具の使い方や色の塗り方に着目させながら、友達の制作過程を参考にさせる。 *見せ合い</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>制作してみたの感想を発表する。</li> </ul>	<p>作しようとしたか。 (作品、観察、ワークシート)</p> <p>○発表者の方を見て、しっかりと聞くよう促す。また、発表された意見は黒板にまとめる。 ★発表者は聞く人のことを考え、聞く人は発表者のことを考えた言動がとれたか。 (観察)</p>	<p>②友だちの意見から、制作上の工夫点を見つけさせ、より良いものにするためのアドバイスとともにワークシートに書いて相手に戻すようにする。 *見せ合い</p>
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後片づけをする。</li> <li>自己評価カードに記入をし、本時の学習を振り返る。</li> </ul>	<p>○準備してきた雑巾で、洗った後のパレットなどを拭くように助言する。 ★自分の使った用具の後片づけができているか。 (観察、ワークシート)</p> <p>○用具を正しく使うこと、色の作り方、絵の具の塗り方を頭に入れて次時の学習へとつなげたい。 ★色を作るということに関心をよせ、次の学習への意欲を持てたか。 (観察、ワークシート)</p>	

### 5. 評価

①意欲的に学習する中で、課題を見つけより良いものにしていこうという姿勢が持てたか。

【美術への興味・関心・態度】

②色についての基礎的な知識を理解し、基本的な色の作り方や混色による表現ができたか。

【知識・技能を習得する力】

①は、授業の取り組み全体や、ワークシートや自己評価カードを通して評価する。  
②は、制作の過程と作品から評価する。

### 6. 授業について

今回作成した指導案は、文部科学省より出された人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕指導案等の在り方編の中にある「人権が尊重される授業づくりの視点例」に基づき作り直したものである。指導案を作成するにあたって、この視点を取り入れることで、さまざまな学習場面で人権が尊重される場面づくりが可能になることを改めて意識することができた。また、学習活動における生徒の言動の内容の是非を性急に判断するのではなく、その背後にある心情や意味を理解するよう心がける必要があることや、授業中の生徒の発言や活動の様子を観察し、学習過程でのつまずきに伴う不安を受容して解決の見通しを示すなど、受容的・共感的な態度で進めていくことの重要性を確認することができた。